

アクティブボードの位置合わせ方法



アクティブボードに投影されたマウスカーソルの位置とアクティブペンの先端の位置を合わせる操作を「位置合わせ」または「キャリブレーション」と呼びます。アクティブボードとプロジェクタの位置関係を変更したときや、プロジェクタに接続するコンピュータを変更したときなどにこの操作を実施してください。

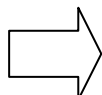
位置合わせ画面の起動方法にはいくつかあります。それぞれの手順をご紹介します。

以下の操作は、アクティブボード・プロジェクタ・コンピュータをそれぞれ適切なコードで接続し、電源を入れて映像をアクティブボードに投影してから実施してください。

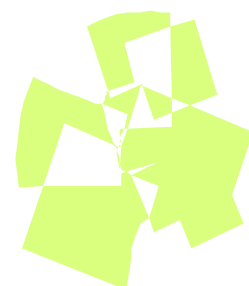
アクティブボード上で位置合わせ画面を起動する方法

1.

ボード左上にある LED インジケータにアクティブペンのペン先を数秒かざすと位置合わせ画面が現れます。



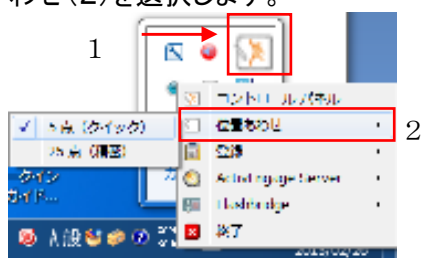
- ※ ペン先を LED インジケータに押しつけないでください。また、ペンの脇にある軸ボタンを押さないでください。
- ※ Windows8 をお使いの場合には、デスクトップ画面を起動してから上記操作を行ってください。
- ※ Windows8 で位置合わせ画面が起動しなかった場合にはユーザーインターフェイスをクラシックに切り替えてから位置合わせ画面を起動してください。



コンピュータ上で位置合わせ画面を起動する方法

1.

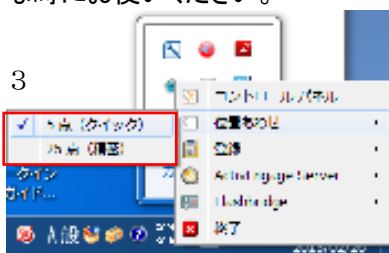
マウスを使ってコンピュータを操作し、システムトレイ/ツールバーにある ActivManager/ActivDriver アイコン(1)をクリックし、位置合わせ(2)を選択します。



2.

「位置合わせ」オプションとして「クイック版」と「精密版」(3)があります。「クイック版」は 5 点校正を行います。日常的な位置合わせにお使いください。

「精密版」は 25 点校正を行います。より精密な位置合わせが必要な時にお使いください。



3.

「位置合わせ」オプションを選択すると位置合わせ画面が現れます。



位置合わせをする

上記のいずれかの方法で位置合わせ画面を起動したら、位置合わせを行います。

1.

オレンジ色の○の中にある十字の中心をアクティブペンのペン先でクリックします。

2.

クイック版では 5 点、精密版では 25 点クリックすると、位置合わせが完了し自動的に位置合わせ画面が終了します。

マウスカーソルとアクティブボードに近付けたアクティブペンのペン先の位置が揃いました。

次にアクティブボードとプロジェクタの相対的な位置を変更したり、他のコンピュータをアクティブボードに接続したりするまで、正しい位置認識を保ち続けます。

